

事業者向けサポートをご利用ください！

「補助金・助成金自動診断システム」を導入

事業者の皆さんの「自社に合う助成金がわからない」「支援制度が見つげにくい」といった悩みを解消するために「補助金・助成金自動診断システム」を導入しました。この自動診断システムを活用することで、約5分ほどで自社の課題にあった公的支援制度を診断することが可能となります。

また、診断結果に基づいた各種公的支援制度に関する相談（無料）や、必要に応じて、申請のサポート（有料・完全オンライン）も行うことができます。

※相談・申請サポートは、株式会社ライトアップが担当します。



▲補助金・助成金自動診断システム
トップページ



▲診断結果画面



◀「補助金・助成金
自動診断システム」
はこちらから

県内初 県・市共同で「茨城県経営支援セミナー in 常陸大宮」を開催

9月14日、茨城県と常陸大宮市の共催で、市内事業者向けに「茨城県経営支援セミナー in 常陸大宮」を開催しました。当日は18名の参加者が「キャッシュレス決済」「インボイス制度」「経営革新計画」の3つのテーマについて、受講しました。

県内の経済状況の説明や、キャッシュレス決済の便利さ、来年10月から開始されるインボイス制度のことなど、受講生からはたくさんの質問があり、有意義なセミナーとなりました。



「奥久慈の切り枝」が、県の銘柄産地に再指定

「奥久慈（常陸大宮市、大子町、常陸太田市）の切り枝」が2回目の茨城県銘柄産地指定を受けました。銘柄産地指定制度は、茨城県が生産地の生産体制や品質などの実績を評価して育成・指定するものです。

JA 常陸奥久慈枝物部会では、250種類以上もの枝物を生産し、都市部などに四季の訪れとともに産地の魅力を届けています。主力品目は花桃で、ブランド品目「奥久慈の花桃」として、市場等からも高い評価を受ける枝物です。

JA 常陸奥久慈枝物部会菊池部会長は、「部会員数、栽培面積及び販売額とも伸びており、販売目標額2億円も年内には達成を見込んでいる。力を合わせて、銘柄産地の名にふさわしい、責任ある産地を目指していきたい。」と抱負を述べていました。

